

| 教 科 | | 科 目 | | 担 当 者 | |
|--|------------|---------------------|---|--|--|
| 芸術 | | 音楽 I | | 佐々木 優子 | |
| (到達目標) 世界各国の音楽に触れ、国による音楽の違いを知る。作曲家の生涯に触れ理解を深める。音楽史を学び音楽の変遷を学ぶ。これらにより音楽知識の幅を広げる。 | | | | | |
| 高校通信講座 | あり | 講座数：全 20 回 | 教科書 | 教育出版 音楽 I Tutti | |
| スクーリング | 2 単位時間×3 回 | 合格時間数 4 時間以上 | 学習図書 | 自校作成の教材資料を使用 | |
| レポート | 全 6 回 | 合格枚数 6 枚 | 副教材 | なし | |
| 期末試験 | あり | | 評 定 | 100 点法 5 段階評定 | |
| 回 | 配信 日付 | 高校通信教育講座 (学習項目) | レポート (締切期日) | スクーリング (日程と内容) | |
| 1 | 4/6 | 日本人と音楽 | | 第 1 回 4/24 (日) 4/27 (水) 〈ボディーパーカッション〉基礎的なリズムを確認し、身体を使ったボディーパーカッションを体験する。 | |
| 2 | 4/6 | イタリアの歌 | 第 1 回 4 月 20 日 | 〈器楽〉数人でメロディーを作り上げる「ミュージックベル」の演奏をする。 この活動により、楽譜を追うこと、五線上の音の高さ、音符の長さ、拍子などの音楽要素を体験する。 | |
| 3 | 4/13 | フランスの歌 | | | |
| 4 | 4/20 | いろいろな声 | | | |
| 5 | 4/27 | いろいろな楽器 | 第 2 回 5 月 6 日 | 第 2 回 6/12 (日) 6/15 (水) 〈器楽〉ギター演奏の基礎として、ギターの種類、楽器各部の名称、楽器の持ち方、調弦の方法、ダイアグラムの読み方、タブラチュア譜の読み方、左手の指番号、右手の指の名称、弦の押さえ方、ストローク奏法を学ぶ。 コードネームの意味を知り、「G」「Em」「Am」「D7」と使い「夢の中へ p75」を演奏する。 | |
| 6 | 5/4 | スペインの音楽 (ギター) | | | |
| 7 | 5/11 | ドイツ・オーストリアの歌 | | | |
| 8 | 5/18 | 日本のうた | 第 4 回 6 月 1 日 | 第 3 回 7/17 (日) 7/20 (水) 〈器楽〉箏演奏の基礎として、楽器の置き方、楽器各部の名称、調弦の方法、爪の種類、爪の違いによる構え方の違い、奏法を学ぶ。 「さくらさくら」を演奏する。 〈創作〉日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の持つ自然なリズムを生かしながら、短い詩にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。 | |
| 9 | 5/25 | 日本のしらべ | | | |
| 10 | 6/1 | 作曲家「モーツァルト」 | | | |
| 11 | 6/8 | 鑑賞「展覧会の絵」 | 第 5 回 6 月 15 日 | 第 3 回 7/17 (日) 7/20 (水) 〈器楽〉箏演奏の基礎として、楽器の置き方、楽器各部の名称、調弦の方法、爪の種類、爪の違いによる構え方の違い、奏法を学ぶ。 「さくらさくら」を演奏する。 〈創作〉日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の持つ自然なリズムを生かしながら、短い詩にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。 | |
| 12 | 6/15 | 中南米の音楽 | | | |
| 13 | 6/22 | アジア・アフリカの音楽 | | | |
| 14 | 6/29 | 音楽の歴史 (1) | 第 6 回 6 月 29 日 | 第 3 回 7/17 (日) 7/20 (水) 〈器楽〉箏演奏の基礎として、楽器の置き方、楽器各部の名称、調弦の方法、爪の種類、爪の違いによる構え方の違い、奏法を学ぶ。 「さくらさくら」を演奏する。 〈創作〉日本語の持つイントネーションに注目し、言葉の持つ自然なリズムを生かしながら、短い詩にメロディーをつけ、楽譜に書いてみる。 | |
| 15 | 7/6 | 音楽の歴史 (2) | | | |
| 16 | 7/6 | 期末テストについて (事務連絡) | | | |
| 17 | 7/6 | 期末テストについて | | | |
| 18 | 7/27 | 音楽の不思議 | | | |
| 19 | 8/17 | 指揮者の仕事 | 期末試験：9/7 (水) 験範囲：第 2 週～第 13 週、レポート 1 回～6 回 | ※スクーリング (日) (水) は、それぞれ登校クラスごと実施。 | |
| 20 | 8/17 | 音楽のくすり | | | |

| 教科 | 科目 | | 担当者 | |
|--|------------|--------------|--------|---------------|
| 芸術科 | 書道 I ① | 単位数：2単位 | 石見 仁唯奈 | |
| 指導目標 | | | | |
| 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。中国や日本の古典に触れ、書道を愛好する心情を育成し、表現能力の習熟や鑑賞力を伸ばす。 | | | | |
| (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 | | | | |
| (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 | | | | |
| (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 | | | | |
| 高校通信講座 | なし | | 教科書 | 光村図書 書 I |
| スクーリング | 2 単位時間×3 回 | 合格時間数 4 時間以上 | 学習図書 | 自校作成の教材資料を使用 |
| レポート | 全 3 回 | 合格枚数 3 枚 | 副教材 | なし |
| 期末試験 | なし | | 評定 | 100 点法 5 段階評定 |

| 回 | 作品課題 | 作品テーマ | レポート (締切期日) | スクーリング (日程と内容) |
|---|--|---|----------------|--|
| 1 | 楷書：(欧陽詢) 九成宮醜泉銘 「清泉」 (教科書 20 頁) 「孟夏之月」 (教科書 19 頁) | 1. 初唐の三大家のひとりと言われる欧陽詢の厳正な楷書の美しさを学ぶ。 2. 点・角のはっきりした縦に長い(背勢)について学ぶ。 | 第 1 回 5/6 | 第 1 回 <u>A : 4/24 W : 4/27</u> ・第 1 回作品課題 (1)プリント①の基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。(2)「清泉」(3)「孟夏之月」も(1)と同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。 |
| 2 | 楷書：(虞世南) 孔子廟堂碑 「天河」 (教科書 16 頁) 「丹書表瑞」 (教科書 15 頁) | 1. 初唐の三大家のひとりと言われる虞世南の規範性に富んだ、温雅な楷書を臨書し、鑑賞する。 2. 丸みのある穏やかな線(向勢)について学ぶ。 | 第 2 回 6/22 | 第 2 回 <u>A : 6/12 W : 6/15</u> ・第 2 回作品課題 (1) プリント①の基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。(2)「天河」(3)「丹書表瑞」も(1)と同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。 |
| 3 | 楷書：(褚遂良) 雁塔聖教序 「春光」 (教科書 24 頁) 「蓋聞二儀」 (教科書 22 頁) | 1. 初唐の三大家のひとりと言われる褚遂良の弾力を生かした軽快な筆づかいを学ぶ。 | 第 3 回 7/27 | 第 3 回 <u>A : 7/17 W : 7/20</u> ・第 3 回作品課題 (1) プリント①の基本点画を何枚か練習し添削を受けてから提出作品を書き上げていく。(2)「春光」(3)「蓋聞二儀」も(1)と同様に練習、添削を繰り返し、より良いものを提出できるようにしていく。 |

※【面接指導日の注意】

1. 面接時間数が少ないので、すべてに出席するようにしよう。
2. 用意するもの…書道用具(大筆、小筆)、半紙、新聞紙【忘れず持参しよう】
3. 面接指導日等はよく時間割を確認し、受講すること。

※【書道作品の提出方法ロイロノート】

1. タブレットなどのカメラで、書道の作品の写真を撮る。(ロイロノート内のカメラ機能を使うと便利)
2. ロイロノートに取り込んだ写真(作品)を、第 1 回から第 3 回の「作品提出票(レポート)」の後に、つなげて(添付)提出する。

| 教 科 | 科 目 | | 担 当 者 | |
|---|------------|--------------|-------|---------------|
| 芸術科 | 美術 I | 単位数：2 単位 | 本多 優貴 | |
| 指導目標 | | | | |
| (1) 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。様々な材料を使い自分なりの工夫を加えていく。 | | | | |
| (2) 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。画題に沿ってアイデアを練り、具体的に形を作っていく。 | | | | |
| (3) 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を最後まで仕上げるにより達成感を味わう。 | | | | |
| 高校通信講座 | あり | 講座数：全 4 回 | 教科書 | 光村図書 美術 I |
| スクーリング | 2 単位時間×3 回 | 合格時間数 4 時間以上 | 学習図書 | 自校作成の教材資料を使用 |
| レポート | 全 6 回 | 合格枚数 6 枚 | 教材 | 画用紙・絵の具・鉛筆 |
| 期末試験 | なし | | 評 定 | 100 点法 5 段階評定 |

| 回 | 配信 日付 | 高校通信教育講座 (学習項目) | レポート (締切期日) | スクーリング (日程と内容) |
|----|----------|--------------------|-----------------------------------|--|
| 1 | 4/8 | 入門編 (学習の進め方) | | 第 1 回デッサンからはじめよう |
| 2 | | | 第 1 回 5/6 | ☆第 1 回目レポート内容 |
| 3 | | | | 4/24 (日) 4/27 (水) |
| 4 | 4/18 | コラージュで表現 | | 立方体が机に置いてある状態を鉛筆デッサンする。6 段階のグレースケールをつくりそれを基準にして調子をつけていく。各面の鉛筆の調子に気をつけて立体感を出していく。 |
| 5 | | | 第 2 回 5/11 | 第 2 回アクションペインティング |
| 6 | 5/2 | 文字でデザイン | | ☆第 4 回レポート内容 |
| 7 | | | 第 3 回 5/25 | 6/12 (日) 6/15 (水) |
| 8 | | | | 筆以外にも様々な材料 (歯ブラシ、型紙、スポンジ、ボール紙、ストロー、マーブリングなど) を使い自分のイメージを抽象表現する。材料の特徴などを生かしてひとつの作品として仕上げていく。 |
| 9 | | | | 第 3 回木版画 |
| 10 | 6/3 | 様々な素材で造形する | 第 4 回 6/22 | ☆第 6 回レポート内容 |
| 11 | | | | 7/17 (日) 7/20 (水) |
| 12 | | | 第 5 回 7/20 | 版木にあらかじめ自宅で描いてきた下書き (前回の授業時に描いてくるように指導) を転写し、彫刻刀の彫り跡を生かしながら彫っていく。白と黒の配分に注意をする。刷りの作業では均等にインクを塗りバレンでかすれなどが無いように力を入れる。気に入ったものができるまで何枚か刷る。 |
| 13 | | | | |
| 14 | | | | |
| 15 | | | | |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | 期末試験：なし | |
| 20 | | | ※スクーリングは、(日) (水) は、それぞれ登校クラスごと実施。 | |